稲城野草散策の会

野草スケッチ　ヤブカンゾウ（ユリ科）

1996/07/01　　稲城市坂浜　　絵と文　Ｔａ

ヤブカンゾウは真夏に咲く。
日陰が恋しい時期、カンカン照りの中で暑苦しい色の花を開く。
しかも厚ぼったいハ重咲きである。
見ているだけで汗が噴出しそうだ。

会報第４４号　2008年8月2日発行　発行責任者　尼子　房夫

ヤブカンゾウに似ている花にノカンゾウがある。
こちらは一重なので、暑苦しさの点ではまだ救われる。
いずれもゼンテイカ（ニッコウキスゲ）の仲間、ワスレグサ属である。
ワスレグサとは、憂いを忘れるということだそうで、名前が似ているワスレナグサとは意味が逆である。

花が咲けばヤブカンゾウとノカンゾウの区別は容易だが、葉だけの状態では非常に難しい。
ヤブカンゾウの葉の方が幅が広く、厚みもあるが、それとてもバラツキがあって、決定的とは言い難い。
稲城には両方あるが、ノカンゾウはやや数が少なく、生育地も限られているようだ。
ヤブカンゾウは田んぼの畦、道端にわんさか生えている。
ヤブカンゾウもノカンゾウも若芽のうちは食用となる。
というわけで、今回はロゼットオフ（ゲンゲの項で予告）を紹介しようと思う。

ロゼットとは、草たちの冬越しの姿だ。
秋に芽生えた野草は、放射状に葉を広げて地面に張り付いている。
バラを連想させることからロゼットと呼ばれるが、放射状にはならない種類もある。
そうした種類も含めて、冬越しの葉はみんなロゼットと称している。

３月にパソコン通信仲間を集めてロゼットを観察する会を開く。
主催は私、場所は稲城市百村～坂浜地区の田んぼである。
コオニタビラコ、ナズナなどの春の七草、ヨメナ、ゲンゲなど、花もないような葉っぱを見ては、何の種類かを当てるのだ。
物好きの極致かもしれない。

じつは、観察のほかにもう一つ目的がある。
観察しながら、食用になる野草を摘んで、調理するのである。
皆ビニール袋を片手に、せっせと野草を集める。
食用ということになると、真剣に観察せざるを得ない。それがねらいである。
ヤブカンゾウも大事な食材になる。

一通り採集が終わったら、稲城中央公園（稲城市長峰）へ移動し、調理の開始だ。

洗いながら選別して、材料ごとに調理方法を決める。
ヤブカンゾウはゆでてから酢味噌に和えて、ヌタにする。
あらかじめ味噌を調合して持ってくる人がいて、缶詰のホタテも混ぜ込む。
これが人気で、あっという間になくなってしまう。

ヨモギ団子を作る人がいる。鍋を持参してナズナのキムチ鍋を作る人がいる。
お浸し、てんぷら、炒めもの、ごま和え、クルミ合えなど、誰かが仕切らなくても、みんな嬉々としてそれぞれの料理に取り組んでいる。
野草以外の食材は近くのコンビニから買ってきたものだ。
なぜかビールやワインも買い込んである。
正直言えば、これも（これが？）目的だったのだ(^_^;)　（２０００年７月記）

＊　＊　＊　＊　＊

〔観察記録〕７月１３日　柳瀬川・金山調節池

梅雨は上がったのでしょうか、快晴の暑い一日でした。日焼け除けの装備をされた女性も大勢いらっしゃいました。金山調節池では、前回見たジョウロウスゲ、ナヨナヨワスレナグサの花が見られ、バラモンギク、ミズタガラシ、アメリカミズユキノシタの説明もありました。水辺の植物も色々観察出来ました。

調節池の周辺には、ヤナギの仲間が色々あり、ヤナギに詳しい中村さんから解説していただきました。

清瀬金山緑地公園には色々な樹木も植えられていて観察出来ます。暑かったけどよい観察会だったと思います。熱中症の人が出なくて良かった。
新秋津駅まで歩いて解散しました。 (FAM)
◇観察記録（番号順）
(01)イシミカワ、(02)スベリヒユ、(03)イヌムギ、(04)チャノキ、(05)タチヤナギ、(06)マルバヤナギ、(07)コゴメヤナギ、(08)メマツヨイグサ、(09)バラモンギク、(10)ハルシャギク、(11)メドハギ、(12)ヤハズソウ、(13)ヒメガマ、(14)セイバンモロコシ、(15)シマスズメノヒエ、(16)ジョウロウスゲ、(17)チゴザサ、(18)サンカクイ、(19)カンガレイ、(20)フトイ、(21)ヘラオモダカ、(22)ナヨナヨワスレナグサ、(23)クサヨシ、(24)ウンリュウヤナギ、(25)イグサ、(26)アメリカミズユキノシタ、(27)メリケンガヤツリ、(28)ミズタガラシ、(29)イヌコリヤナギ、(30)オオフサモ、(31)アゼナルコ、(32)イボクサ、(33)ツルヨシ、(34)ミコシガヤ、(35)ヤブカンゾウ、(36)ニワウルシ、(37)エゴノキ、(38)エゴノネコアシ、(39)リョウブ、(40)アズキナシ、(41)サンシュユ、(42)ムクノキ、(43)エノキ、(44)ムラサキシキブ、(45)ニシキギ、(46)ガマズミ、(47)チ

ャンチン、(48)ヤマコウバシ、(49)タケニグサ、(50)ヘクソカズラ、(51)ヤブカラシ、(52)ゼニアオイ、(53)セイヨウハコヤナギ、(54)ノブドウ、(55)キツネガヤ、(56)ミヤマシラスゲ、(57)メヤブマオ、(58)ヒメヒオウギズイセン、(59)ソクズ、(60)オカトラノオ、(61)ハナウド、(62)ミズヒキ、(63)ノカンゾウ、(64)エノキグサ、(65)イカリソウ、(66)オケラ、(67)シラヤマギク、(68)カシワバハグマ、(69)ヘビノネゴザ、(70)クサイチゴ、(71)ヤダケ、(72)ヤブマオ、(73)ナンテンハギ、(74)ゴウシュウアリタソウ、(75)ザクロソウ、(76)イボタノキ、(77)カマツカ、(78)ノイバラ、(79)マユミ、(80)オニグルミ、(81)ムクロジ、(82)セリ、(83)サジオモダカ、(84)ウマノスズクサ、(85)ニガクサ
(FAM)

◇ハルシャギク

あちこちで咲いていて、この名前の由来を訊かれました。
波斯菊（ハルシャギク）で「ぺるしゃ」が訛ったものですが、原産は北アメリカです。(FAM)

◇オオバネムノキ

今回出あった植物の中で、印象に残ったのはオオバネムノキです。

最初はマメ科、２回偶数羽状複葉という以外はさっぱりわからず、せせらぎ公園学習管理棟のボランティアの方に教えていただきました。

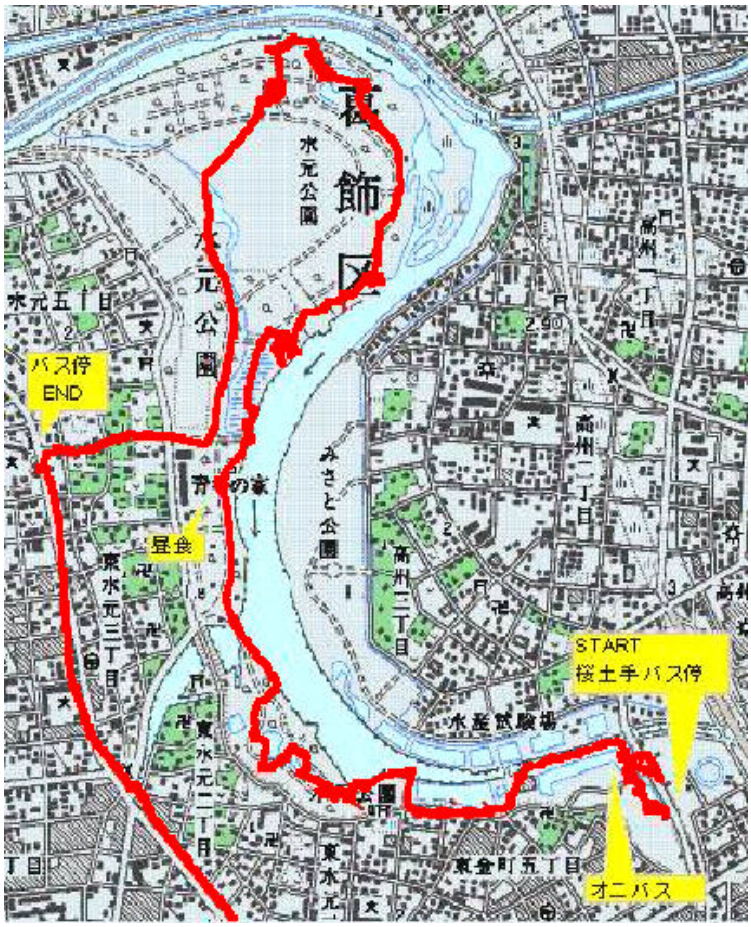
どうせ外国ものだろうと思っていたのですが、さっき調べてびっくり。

宮崎県だけに自生するネムノキ属の落葉小高木で、絶滅危惧 IB 類（EN）に指定されているのだそうです。

とはいっても、最近あちこちに植えられているらしくて、八王子の長池公園にもあるそうです。

（Ta）

〔行事予定〕2008/8/2（土）　水元公園

項　目	説　明
集　合	ＪＲ常磐線・金町駅　南口改札口付近　ａｍ１０時　※会旗目標
交　通	ＪＲ常磐線、地下鉄営団千代田線をご利用下さい。 金町駅前から三郷団地行きのバス１０：１０に乗りますので、これに遅れないようにお願いします
行く先 （解散場所）	水元公園園内観察 ＪＲ常磐線金町駅　ｐｍ４時頃解散予定
見所 その他	目玉のオニバスのほかアサザ、ゴキヅル、ミズネコノオなどの水中～水湿地植物。夏の草花、公園内の樹木など
地　図	
コース	ＪＲ金町駅南口→（バス）→桜土手→アサザの池→オニバスの池→公園内散策→青年の家（昼食）→公園内北上→ミズネコノオ自生地→公園内南下→公園入り口→バス停→（バス）→金町駅南口（解散）

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

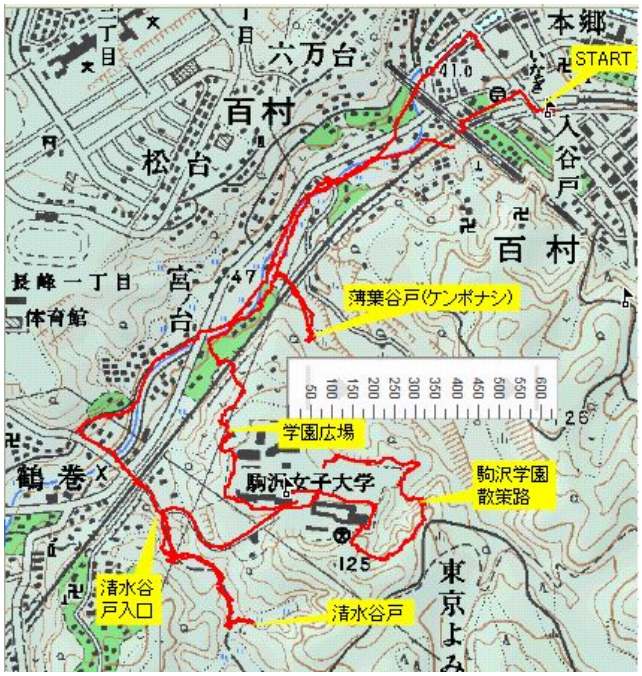
〔行事予定〕2008/8/31（日）　大丸用水

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、ＪＲ南武線・南多摩駅 改札口付　※会旗目標 改札口は一個所だけです
交　通	南武線はＪＲ川崎駅と立川駅の間、多摩川に沿って走っています 南多摩まで川崎から約４５分、立川からは約１５分（乗換えなし） 電車は１０分程度の間隔で運行されています（すべて各駅停車）
行く先 (解散場所)	ＪＲ南多摩駅　→　ＪＲ矢野口駅（下の地図を参照ください） 矢野口駅にてｐｍ４時頃解散予定
見所 その他	多摩川の大丸堰近くでは奥多摩から流れ着いたと思われるナンバンハコベが見つかるかもしれません 水辺の環境と、畑・路傍などの乾燥地とで植生がどう違っているか、観察するのも面白いと思います 大丸用水については、野草スケッチ「ミゾソバ」のエッセーを参照してください http://homepage3.nifty.com/inagiyasou/essay/e087.htm
地　図	
コース	南多摩駅～大丸堰～南多摩駅裏～大丸自治会館（庭で昼食）～踏切１～踏切２～広場（休憩）～矢野口駅（解散） 行程５ｋｍ程度、アップダウンはありません コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

★機会を作って、是非一度稲城野草散策の会ＨＰをご覧下さい。
http://homepage3.nifty.com/inagiyasou/

〔行事予定〕2008/9/20（土）　駒沢学園周辺

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、京王相模原線稲城駅 改札口付近　※会旗目標 稲城駅の改札口は一個所だけです
交　通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で４駅目 多摩モノレールの場合、多摩センター駅で京王線に乗換えて３駅目 小田急線の場合、永山駅、または多摩センター駅で京王線に乗換え 稲城駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市坂浜地区、清水谷戸（下の地図を参照ください） 京王相模原線稲城駅　ｐｍ４時頃解散予定
見所 その他	コースの途中何ヶ所かでツリフネソウが見られます。駒沢学園構内ではオケラもあると思います
地　図	
コース	稲城駅→百村→駒沢学園・学園広場→清水谷戸→高勝寺→稲城中央公園→百村→稲城駅（解散） 行程５～６ｋｍ、多少のアップダウンがあります（標高差１００ｍ以下） コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

〔行事予定〕2008/９/27（土）　猿島

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、京浜急行線横須賀中央駅　東口改札口付近　※会旗目標 横須賀中央駅には東口と西口があります
交　通	京浜急行線品川発９：０８または９：１７ 三笠桟橋（三笠公園内）から１０：３０発の船に乗ります 横須賀中央駅から三笠桟橋まで徒歩で１５分くらいです
行く先 (解散場所)	猿島（三笠公園　ｐｍ３時頃解散予定）
見所 その他	海岸の植物
地　図	
コース	横須賀中央駅～三笠公園～猿島島内観察（昼食）～三笠公園（解散） ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

料金：会費のほかに船賃往復１２００円各自負担

◇猿島

東京湾唯一の自然島で、面積は横浜スタジアムのグランドの約４倍。
終戦までは一般の人の立ち入りは禁止されていましたが、今ではエコミュージアム猿島として整備され、連絡船で気軽に訪れることができます。
島内には緑深い木々のなか、旧軍施設であるレンガ積みのトンネルなどが残り、ちょっとした探検気分が味わえます。（横須賀市オフィシャルサイトより）